(1)

聞 京都市北区小松原南町 TEL (463) 3281 (代) 印刷網吉川印刷工業所

記

念

第二十回

乳児はやがて幼稚

年に入学し、現代の所謂"しらけ時代"の中で高校を巣立って それをここに掲載する。 は卒業生、教職員(校長及び高三担任)そして在校生を代表し ゆく彼等に、何が待ちうけているのだろうか。 それはまさに するのは二十期生百九十名。学園紛争が静まりはじめた七十 て七十六年度高校生徒会長にそれぞれ投稿していただいて、 「神のみぞ知る」ところなのであろう。洛星新聞第九十三号で 今日、第二十回洛星高等学校卒業式が行なわれる。今回卒業

希望を持て

長 村 田

希望を持て、とはごく平凡な言 間は誰でも希望を持っています。 けることはむずかしい事です。人

栗ですが、希望を持って、牛き続「て見ましよう。 乳児がはい始める」がる、この様な努力の連続が乳児「とは希望に牛きることのむずか

人間の生活です。乳児を例に取っ 志の弱さと戦い、自分に打ち勝た一に、よりすがって一歩一歩前進し一さえも失なっています。 いわゆる しかしその達成の為に、自分の意一ことができるようになると、何か 次 | ます。決して前進だけではありま | 三無主義、四無主義に陥ち入って 果、五センチ、十センチと前進で せん。幾度となく倒れては立ちあ きるようになります。やがて立つ ます。しかし時には前進するかわ 力を入れ、前進しようと努力をし|の希望と選民的 意識に支配され と、目の前の物を取る為に、足に りに後退し、苦心惨たんした結

望、その達成の努力のおかげで人 間的に成長して行くのです。

も理解出来ます、旧約理書はこの 今日、多くの人々が試練との戦に 民族の試練との戦いの物語です。 うことがあります。例えば、 負けて、希望を失い、生きる勇気 た、イスラエル民族の歴史を見て いるのも失望の結果です。このこ 耐、苦しみ、悲しみ、挫折感を伴 の場合と同じ様に、長い時間、忍 しかし、希望の達成には、乳児

正しい希望達成の為には聡明さ、 ばならないのです。それは同国民 成の為に向って立ちあがらなけれ また人類の希望、即ち世界平和遠 す。つまりコンパッションです。 対しても相互発展の為に努力する一様をお送りする季節がやってまい い、慰め合い、勇気づけが必要で とです。また友人に対して、他人 必耐と勇気が必要であるというと 一対しては勿論のこと、他国民に一正月も過ぎ去り、今年も先輩の皆 と対する思いやり、はけまし合 生は希望の連続であると同時に 申し述べていることは、人間の

図、小学校、 げみます。成人すれば、自分の た父や母になれば、子供の将来や の希望を持つようになります。 教育についての希望を持ちます。 続であると言えます。この条 研究テーマについて、其の他 小学校、中、高等学校生とな

状態、悪事のいたましさを感じな 用しますと、この状態は喜びや、 木目のような細かい心のひだが消 さを教えています。 らしい感情の波立ちがなくなり、 ます。 平井 富雄 先生の言葉を引 感情鈍磨」という言葉があり

原因かも知れません。

悲しみ、いたましさといった人間」す。これが私達の希望する国際人「たのです。弟子達は全世界に色々」も、人間を改革する為に人間の協 特使になることはできないでしょ う。しかし、全員にできることははれ、神の国の平和をこの世で実 民間に於ける橋渡しとなることで「現する為に働くことを希望なされ」は、神は無から 浴星の卒業生が全員公的な政府の|

のだろうか。どうせなら、年の始

ころは良かったという心境になる

でもしばらくたつと、洛星にいた

時いくらうれしいと思っている人

分になるのではないか。卒業する

したのである。大抵少し悲しい気

般には六年間この洛星で学び、著 気持ちはどうだろう。長い間、 みなのだろうが、卒業する本人の 以下の生徒にとってはうれしい休 アッという間にやって来る。中三 はまだまだ終らないが、卒業式は

う思い切ったことができないの

朝は必ず悩むのである。◆冬

たく冬の朝はねむたくてかなわな られるかということである。まっ

あっ朝だ、さあ起きようとい

(事ではなく、あと何分ぐらい寝

る、といっても時間と は何だろうというよう

それは時間のことであ も考えることがある。 朝蒲団の中で、いつ

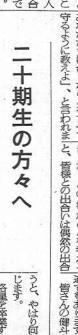
衣

めの一月の方が良いと思うし、米

い状態が、現在の多くの不祥事のに、み旨が天に行なわれると同じ 状態だそうです。感情鈍磨化した一言われました、「み名が聖とせら つまり物事を正しく判断する力と|あなたたちに命じたととをすべて|ました。 この様なことを考える| るしください。」最後に、「私が ますから、私たちの負めをもおゆ一それぞれの環境に於て、諸君なり れますように、み国が来ますよう ・私たちに負めのある人をゆるし く、地にも行なわれますように… の為に働いて来ている積りです。 又、社会の希望、つまり諸君等の 一人となる為に教えています。

え、ツルツルの、のっぺらばうの一希望をお尋ねした時、次のことを「も其の一つです。即ち平和確立の」に選ばれたのです。また協力者に「ところが不思議に昔からずっと四 キリストの弟子達がキリストの一た。ミッション・スクールの存在一人は現代が希望する青年になる為一月、端午の節句の五月でも良い。 の役割が出来る様に、努力して来進して下さい、 の方法で神の道を教えて来まし|力なしにはでき 推進者であったり、その協力者の一なる為に選ばれ 即ち人類が神のもとで一つに結一神にとって、私達にとって必要な」とある卒業生は言っている。◆学 出合いとなったのです。その理由校の新学期はなぜ四月から始まる の様な希望の連 道でもあります い強い意志を持 るのです。希望 でまざまの試練 皆さんには、 ないのです。皆さ国式に九月、ひな祭りのある三 宇宙を創造できて し、この出合いは たのです。

洛星は諸君等の個人的希望達成一社会の希望、人類の希望がありと 皆さんの健斗 これが真の英雄の|覚えているだろうか。また小学校 って、一歩一歩前」いだろうか。幼稚園のそれを誰が を祈ります。 達成の中にある、 統の中に生きてい 自分自身の希望、 に屈することのな一の卒業式が最も印象深いのではな 式、小学校の卒業式、中学の、高 もいろいろある。 幼稚園の卒園 の卒業式は、明日から、上の学校 校のとあるが、何といっても高校 月始業となっている。◆卒業式に に行けると期待にむねをふくらま



かしら淋しさを感

う社会人への第一歩である。そん

した。しかし高校にもなると、も

H 2 C

いつの間にやら、クリスマスも一っております。

なされなければならないのです。一と一年余を残すのみと感慨にふけ 学問や、開発事業に多くの努力が一業にあたり、我々の高校生活もあ りました。二十期生の皆様の御卒 実感としてお感じにならないかも 期待いたします。 が皆様が本当の実力を発揮なざる。をお忘れなく、 大事な時期であるのですから、今一様々な経験、教訓をもとに社会を の御祝いを申し上げます。 しれません。が、ひとまず御卒業。高二にとっては、 「おめでとう」と、言いましても 実際にはこれからの「ケ月余り」るにしろ、洛星

れます。校内で皆様のお顔を見ま一の御指導に対し しても、この方もあの方も校内で一 は、皆様二十期生の万々だと思わ などでも最もお世話になったの 祭、体育祭またその他の学校行事 しから五年間、クラブ活動や文化 思えば我々がこの学校に入学し 導、御鞭撻を切実に希望するもの そうでなかった方々にも、今まで お付合をいただいた方々にも、マ であります。 験をもとにした、 最後になりま したが、個人的に 心から御礼を申

本日の卒業式での表彰は次の通り。

六カ年皆勤は十五人

六カ年皆勤賞

十五人

三ヵ年皆勤賞 六カ年精勤賞

二十二人

お会いできるのはもうないかと思一様の御卒業をお祝いいたします。

三カ年精勤賞

リードしてゆく立場での御活躍を ぞこれからどんな道にお進みにな っして洛星から つ事ではないと思われます。どう 洛星を卒業す 離れていってしま そして洛星で得た での六年間の生活 るという事は、け 生の声での御指 貴重な皆様の体 また、特に我々 あろう。◆今、まさに洛星という 行こうとする卒業生に我々在校生 社会へ送り出そうではないか。 は心から「おめでとう」と言い、 巣で六年間すごしてきて、飛んで な大事な儀式に誰もが感慨無量で





浴

担

か

とまれ、みずからの足どりで歩む

現代史という激動の嵐の中に叩き

ほかありませんし、また是非そう

が卒業してしまうと全く知らない

になってしまう。従ってその学年

によって再刊したことである。

だから前後の学年とは全く無縁

学年ばかりで 淋しくなってしま

ができ秋には高一だけで部員が二

高一のとき高浜以下五人の部員

高3D 地 先

加

先生

ひたいに汗して

が、どうも実感を伴なわない。 在校生の皆さんに一言。それぞ

鳴呼!! 高3A 青春

岸

年間、私の人生にとって随分プラ スになることがあったように思 ぎ去ろうとしている。その中の六 短い人生の四分の一が過 本

かけてあるものにうち込む。それ だと思う。たとえ、それがどんな ものであろうとも、自分の全てを はさまざまであろうが、 青春とは何か。人によって答え 人間の最も美しい姿ではない ーどんなに容姿端離な 私は情熱

だ、失敗を恐れずに――それが若 だ、ひたすらに無限級数を追うの 続く限りやり通すべきである。 っかりとした木綿の雑巾の方が良 者の特権ではないだろうか。 いに決まっている。我々は、 る。上等だが弱い絹のよりも、し 人間は雑巾のようなものであ カの た

卒業で得られるもの 夏 Щ かもしれませんが、以来有六年、

りました。思えば、六年前僕たち|強する時は勉強に没頭し、遊ぶ時 もとうとう、お別れすることにな一をつけるということに尽きる。勉 のだろうから。 当に大切なものは、一本の卒業証 心に刻み込む必要があろう。 ることに終らせてはなるまい。 であったとしても、本業を、そこ。まれているのだということを忘れ 卒業気分も消しとぶの略がある。 迫り来る入試シーズンの前には、 かもしれない。そうでなくとも、 書ではなくて、六年間の思い出な」は、成績もまずまず良く、クラブ からトコロテンの如く押し出され んなことを書くのが土台無理なのが、どんな時にも自分を見失わな しかし友人のK君に言わせると一を楽しい学生生活が送れるのでは 永らく、お世話になった洛星とという意味である。それはケジメ なぜなら、卒業で得られる、本 やはり、六年間の終止符として いいかげん、あきた」洛星生活」ないでしょうか、また君たちは恵 もっとも、卒業試験の直前にこ 在校生諸君へ 高3A 樫 田 一何にすれば良いか。うまくやると いて欲しいと思います。それでこ せこせせず、おおらかな気持ちで ないで下さい。 れに様々の悩みはあるでしょう とも程々につき合える(但し高三 は除く。受験生活に女は有害。) いようにしてください。また、こ 洛星でうまくやっていくには如 在校生に送る辞 高3B 竹

る、と書けばもっともらしかろう一は、ひとえに洛星のお蔭です。 既が、心の底から涌き上がってく 卒業に際し、しみじみとした感」さしたる不自由もなく勉強にスポー当の生活であり、今を楽しみ、今 ーツにいそしんで こられたこと

星

堂大 昨年の卒業式より

いうちっぽけな枠を打ち破って、 大きな目で物を見る人間になって

なのである。そうして受験などと

枚方より愛をこめて

内

の他諸々の遊びを楽しみ、女の子に、この紙面を借りまして、心よ 沿動、生徒会、体育祭文化祭、そ 様、その他あらゆる方面の皆様 て、在校生の方、私自身へも寄せ 諸先生方、営繕の皆様、事務の皆 り厚く御礼申し上げます。そし 在学中、親切に御指導下さった

かせながら入学式に臨んだもので「気持ちの切換をできるだけ素早く」と、本質的な自分の位置に敏感に は晴れがましい思いに胸をときめは思い切り遊ぶ。そしてその間の した。夢と現実は多少違っていた。するのである。 これは 至難の技 校生活を送ろうとする人には可能一そしてイメージを生む。すべてを一も、 だ。しかし現在の自分の生活が本 に意義を見出してより充実した高 それは変化する状況を飲み込む。 は言葉で考える。言葉の曖昧さ。 する。それは積極的な歩み。私達 なる。外へ広がるほど、内へ回帰 け、 極的な状態ではない。外に耳を傾 教わるというのは、受動的、消 すべてを把握しようとする

高3B 青木

六年間を振り返って 高3B

今、学校生活を振り返って見て

はなくなってしまう。妥協と憂愁 いるのもわからずに、 また自分達の愛の対象も見つける こともできず、結局エリートのエ て歩きたがる。そして自分達の心 恋のエキスパートのような顔をし 真無垢な何も知らない少年達は、 の作用も見極めることもできず、 の囚われの身になってしまえば純 は科学の子。私の息子もまだ子供 較とイメージの子供。鉄腕アトム るか否かわからない。矛盾は、比 多次元の座標で、正確に把握し得 人を捉え易いものなので、一旦そ エリート意識というもの自体、 トたる所のものを破壊されて 鏡に写せば 勝 もう少年で

に対する氷のような勇気なので コンプレックスの極み……。 れる為に必要なものは、真実のみ 今本当に自分に対して冷酷にな

ない、という人があまりに多いよ るが、いやなことなら見向きもし 自分の好きなことなら率先してや

はたけ大空へ」という、高三で

満たす尺度がないからといって、 しろ、勉強にしろ、やりたい時に する時になって、学校生活に悔い

時の短かさを嘆くのが落

直前になってバタバタしだす一夜 ばれて久しいものですが、これも ても、先生方や生徒会諸君の活躍 い。細かな事ですが、文化祭にし 漬的態度にこそ 問題があるので にも拘らず、そのマンネリ化が叫 し、毎日を精一杯に送って下さ ちです。皆さんも一日を大切に

六年間に思ったこと 高3C 大河

為な時間の蓄積と、封建的マザー が集まった所で何が創造されると いうのだろう。在るのはただ、無 に顔だけ少年ではなくなった者達 気のある球技大会のためならば、 人一倍やる気を出す人もいます。 くいるものです。その逆に、やる んて絶対にいやだ、という人がよ は参加したくないとか、応援団な ればなりません。しかし、 なところで、僕たちは協力しなけ 合唱に

思いきりやっておかないと、卒業 個人がだらだらと毎日を送ってい いう感に堪えません。これは、私しも又どんなことにも、 たからかも知れませんが、遊びに っていかなければならないと思っ、比して充実していた。はず、の学

新聞局と私

ージ数も多かったが、内容は反戦で筆をおきたいと思う。 頃の新聞といえば紙面も大きくペ 青春を無為に過したと感ずる今日 は幕を閉じょうとしている。では は当り前。 試験 たつのは早いものだと思う反面、 今頃である。ところで私の中一の「洛星の発展と皆が一日も早く"本 いたのにもう卒業である。月日の一うのは贅沢なのであろうか。しか つい先日洛星に入ったと思って 高30 + りある生活をおくれたら……と思 あろう。高量の間にもう少しゆと

頃は予算も多かったし、印刷費も 問題等で作っていて我々にも少々 難しかった。又良質の紙を使って 8写真人の先生紹介もした。 あの 当の『勉強にとり組めるよう願っ しともかく今僕達の洛星での生活 栄光の二十期生 H3D 鬼 とともに

ることなのか。

いように思う。

文化祭や体育祭など、いろいろ|応が大きく楽しかった。中二の時|えようとしている。20年代の猛者 期待し、ハイクオリティーの新聞一た。チャーチルが死んだと聞かさ を作られることを望んでいる。 再開したのが今の新聞局である。 いがそれ以上に一般の人の参加を 徒も活気に溢れていて新聞への反は昭和40年代生まれの世代をも迎 安かったのでやりやすかった。生 時休刊となり、高一の時我々が連が巣立った後、今は30年代の花 さてこれから居員も増えて欲しの4年代はどんな連中だろうか。 卒業に際して Ш の軟派層が洛星を担っている。次 も感じなかったし、考えなかっ 毛沢東が死んだ。やはり自分は何 れても何の反応も示さないガキだ 昭和4年、我々は7才であっ 考えてみると今年の4月に洛星 「何も」というのは少し大げ

> 損した気分になる。 つの、多いとと。

H 3

最後の御挨拶 高3D 西

JII

|大年間とは実に短いものだと
|の合唱をよく思い出して、誰とで||とは否定できない。男子校、六年||わりがなかったことは確かだ。サ やなことにも忍の字一つ、耐えて一今、小学校時代と大きく異なった。耳にセンして高校卒業後のある点 うに思います。これからは、「い」ることになったわけだが、僕は一さな言い方なのかもしれないが、 気持を卒業に対して抱いているこ 僕達二十期生はいま卒業を迎えた。 を目指すという根本的な姿勢に変

er den dem eres de la company していた洛星新聞を二十期の諸君一きことである。 出って行く。彼等がこの洛星で得早く元気で帰って来てほしいとわ たものを活かして、今後大いに活が子に願った父母の心も、またそ 数多くの思い出を残して学園を巣 聞してくれることを期待して筆を一れを受けて忘れ得なかった若者の いよいよその二十期生も私との一た。 い。」という意味のことを言われ とはいえ千二百余年のむかし、

幸 < あ n

新聞局の歴史の中で特に銘記すべ一おくことにする。

心も或いはまたこの親子の心にと

もる真実をよしとしたのであろ

万葉集を編んだ人々の心さえ

第一号を発刊できたことは本校の 十数名になり、七月にやっと再刊

高3D担任 加 安

ついては大いに釈明しておきた 雨が降らないことは生徒諸君が最 禍されることはないことも分かっ の三人が揃わなければ雨によって お出迎を受けて帰途が一日遅れて れたし、特に北海道旅行は台風の まったが、私と山岡、仙元先生 確かに遠足は雨によって良く流 でて、「幸くあれ」と言った言葉 たものである。方言もまじってい ならぬ両親が別離に際して頭をな一哲学の田中美知太郎博士は「幸福」そのせいもあってご多忙を極わめ わが子を遠く筑紫の国に送らねば て素朴な歌である。恐らく年若い が天平勝宝七年(七五五)に作っ 歌がある。 父母が頭かきなで幸くあれて **支部稲暦という駿河の国の防人** いひし言葉ぜ忘れかねつる われる。ある結婚披露の席上で、 しむやみに使うべきでないとも言 言葉は今でもよく使われる。しか ったろう。

万葉集の巻二十には次のような一う。ここで「幸くあれ」とは「ど その頃の長途の旅にあって、まず 願われたことは健康についてである祈るのである。 うあれ」というのであろう。多分し、その洋々たる将来を望みつ 「幸福であって下さい。」この つ、万感をこめて「幸多かれ」と れの心に響いてくるではないか。 私もまた、二十期生の門出に際

お 詑 S.

特筆すべきことは丸二年間休刊一忘れられないのだというのである一なに無責任に使える言葉ではなび申し上げます。 というものを築き上げることがどにため、原稿をいただくことがで、生方もますます密度の濃い投業を きませんでした。つつしんでお詫 生は、高三の学級担任は初めてで 高三Aクラス担任の藤田行男先 習・復習です。各々の授業への取 れによっていけ 度を取れば雰囲気 組態度が大切なのです。積極的態 してくださるようになります。 ん。よく言われることですが、予 た授業を聞くだけでは、いけませ る盛り上り、 先

都に於いて最も予備校化している 校であるのに……。他方洛星は京 事実で Và 名門校への遺言

洛星は外部の

協力してや一間トンネル方式のお陰で、他校に一ラバ洛星!

俺は後悔なんかしなっては何ら不安を覚えることはない

はずです。H3になりましてます

料、取られた人が不愉快になるの一つ信頼おける人を選んでほしいと てきた授業料を取られた人もいる。く求め、積極的かつ解放的な活動 ええとこのボンの集りと思われて 積極的な支持が必要です。遊び芋 これが秀才やええとこのボンのす らしい(十万円近いものだとか) いるようだ。けれども、その名門 前にノートを取ら一取るべきではありません。勿論、 率、ノート、授業 **| 分勝手な人が多** 人に、秀才の集り 納めようと持つ 傘がなくなるの または白紙的な態度というものを 種委員は、何よりも大事な生徒会 であることを深く考え、積極的か |を行うべきです。

各HR選出の各 生徒会勢行部に対して何でも反対 は生徒会会員の最大の権利の一つ 組織を構成するのです。その選出 生徒会執行部もよりよい人材を多 各種行事推進の基本であります。 生徒全体の生徒会に対する幅広い ますその事が痛感されました。 そして生徒会活動です。それは 興味がないといった態度で、

れることもある。

校洛星において

ないことも大切ではないでしょうの発展を祈りつつ、最後の御挨拶 ど、やはり人にいやな思いをさせ、守って参りたいと存じます。学園 んかもヒドイもんだ。わりとむや をわからないはずがない。食堂な思います。 てみました。月並みなことだけれ 以上卒業生としてグチをこぼし 真面目に並ぶと参りましたが、共に個々人の自信 が、その解決になると思います。 い明日の生まれます事を今後も見 とさせていただきます。 に満ちた積極的な日々の生活態度 後輩諸君の活躍によってよりよ 二問題についていろいろ述べて (投稿して下さった方の名前は都 合で省略させていただきました 編集部)

編集後 記

も、今なおそくそくとしてわれわ一活への積極的な参加を何よりも動一唯一の報道機関としての自覚を持 めたいと思います。それにもいろって責任ある編集に当たり、学校 会活動の二点が問題だと思います。指針を与えるつもりである。その 々もその解決をいろいろ計ってみ」な中で第九十三号を発行するのは が、連帯性の欠除であります。我循環をくり返している。そのよう した自覚がないかもしれませんると部員が少なくなる。という悪 出しました。諸君にははっきりと一たくさん出すことができない。す 年漸くその根底に 一表面的な意味すら十分な理解がで「早めに治療をほどこさなければ、 いろありますが、 ましたが、力及びませんでした。 きていなかったと思いますが、近尾全にだめになってしまうのだろ たころ、当時の 密度を高めることが必要です。た これは個々人の努力によって授業 |い理解と協力を切望したい。 様がさかんに、 ます。我々が本学園に入学しまし いっておられまし そこで、後輩護 後輩諸君に最終 卒業生より後輩諸君に **踏君には、学校生**とも、洛星新聞局に洛星における にある問題を、見一う。部員が少ないので良い新聞を 校長アラール神父|足から新聞部が正常な活動を維持 に一言申し上げ 明るい学園」とできていないそうである。もちろ 積極参加ですがためにも、教職員や生徒諸君の深 特に勉強と生徒|生活における問題の判断に一つの た。その頃は、 非常に喜ばしいことである。今後 ん我が洛星新聞局も瀕死の状態で きないかも知れないが……部員不 どこの高校でも……と断言はで

編集スタッフ HIB

顧×写真協 問×力 ク局局 員長 H HIB M 2 B HIC 飯田 浅藤田 孝陽 琢磨 頭真次司司即

×

×

信夫教諭



胸の上に重くのかしかってきましいかりでしたが、やっと本業まで漕ーから五年連続になってしまった。

って、不手際な担任ぶりで失敗ば

で続くことが多い。二十期も中2

も良く知っていることである。

が、その子にとって、どうしても

んなに大変かを考えるなら、そん

持つとどうも思い切り悪く高るま

私は担任を 夫

り)なので、何もかも忘れてしま

久しぶりの高3担任(十二年ぶ一ぎつけた感じである。

高3C担任

宮

Щ



高3B 中 先 田 方に大きな関心を持っているかも 君たちは〈卒業〉より〈入学〉の

生

高3 C 山 先

与えられた紙面をうずめいたいの

れ以上に〈追放〉であるとも言え

知れませんが、ひょっとしたらそしう二度とお目にかかれない人も

〈卒業〉は或いは〈解放〉かも

また良いことのように思います。

とにする。ただ、ここでこの学年

まがないのでカットさせて頂くこ

の生徒や父兄が私のことを洛星頭

一の雨男と決めてしまったことに

この言葉を何回も繰り返して、

生

う。

二〇期生諸君、

本 業おめでとした。

高3B担任

田

中

成

彦

いのですし、ましてもう時間はな一

思い出は書き始めたら枚挙にいと 北海道旅行や文化祭等についての

幾ら時間があっても言い足りな一

嵐の中を歩むゆえにアダムは逞

う。二十期生との思い出は余りに

中3の九州旅行、高2の

くなったわけです。しかしそれも

宫

この稿を書いている今、君たち

が欄を得るだろう」(創世記)

四月になればたちまち君たちは一台いとして……。

「ひたいに汗して、あなたはおの ましょう。人祖アダムのように。

あるー

λų

――何か言い足りないことが 一これを君たちと私との間

君たちの中にあるかも知れませ

の、たった一つの残された関わり

からは

は卒業試験のさ中にいます。でも

高3 A 田 先 し、最近俄かに〈卒業〉の二字が 知れませんし、それも一つの今日 あったわけではありません。しか 的なあり方として考えてよいでし 君たちに比してさほど遠い状態に ょう。私もこの一年、そのような



